



ハエの発生する季節になりました 早めの対策を進めましょう！！

《ハエの防除対策＝環境対策＋殺虫対策》

① 環境対策（発生源を重点的に清掃・除糞・乾燥）

☆餌槽・水場、敷料の下、バンクリーナー、運動場及び周辺排水路

ハエは糞尿や湿ったところを好み卵を産みます。畜房のすみ、鶏舎の下に堆積した糞、汚水だまり、残餌、飼槽や給水器の下部、通路の汚物や破卵など。

② 殺虫対策（卵・幼虫・さなぎを駆除する）

- ・物理的方法：ハエ取り紙（成虫対策）、堆肥の適正管理(切り返し、醗酵の確認)・浄化槽の点検（卵・幼虫対策）
- ・科学的方法：脱皮蛹化抑制剤（幼虫対策）
毒餌法・残留噴霧法・空間噴霧法（成虫対策）

農場内にいるハエの75%は卵・幼虫・さなぎの状態です。成虫に羽化する前の幼虫は殺虫剤への抵抗力が低く駆除しやすいです。

★殺虫対策の一例

◎幼虫対策⇒ 昆虫発育抑制剤(IGR剤)の使用
糞にIGR剤を均一に定期的に(1カ月間隔)散布

昆虫の発育を阻害して成虫にさせない薬剤です。

糞堆積場や畜舎床の糞に丁寧に均一に散布します。

○成虫対策⇒ 殺虫剤による毒餌法(POB)

毒餌の薬剤と誘引剤(砂糖・酒等)を混ぜて、ハエの好んで止まる場所(天井・壁等)に塗ったり、吹き付けて、毒餌として床等に設置して殺虫します。

※ハエが少しでも目立ってきたら、幼虫対策を第一に一網打尽！

(例) IGR剤を2週間隔で散布し、併せて毒餌法も実施。

【注意】畜産物に殺虫薬剤を残留させないよう、畜体への直接噴霧を認められていない薬品を使用する際には、家畜に暴露させないこと、休薬期間(使用禁止期間)を守ること等、定められた用法・用量を守って使用して下さい。また、使用の際には記録を残しておきましょう。